

第6回 テーマ

中学校学力向上対策3つの提言 ～「生徒と共に創る授業」の推進～

生徒と共に創る授業って、どういうこと？

分かる授業、楽しい授業にするには、生徒の声に耳を傾け、困りやつまずきの様相を把握し、それを授業改善に生かすことが必要です。(略)また、生徒が授業に集中し、主体的・協働的に学ぶには、落ち着いて安心して学べる学習集団であることが不可欠です。学びに向かう学習集団をつくるには、教師の確かな教科経営力・学級経営力はもちろん、生徒が望ましい学習集団づくりに主体的に参画することが重要です。

(『中学校学力向上対策3つの提言』の推進にあたって 提言の趣旨より)

「生徒と共に創る授業」の流れのイメージ(例)

STEP 1

授業像の共有

STEP 2

目標設定(可視化)

STEP 3

生徒評価

【組織編成2】

令和3年度 ●●中学校 学力向上プラン

学校教育
目標
新成長を目指す
資質・能力

◆◆の育成

言語能力、人間関係形成能力

【授業改善】

【家庭・地域との連携】

【授業改善のテーマ・重点】

【授業改善テーマ】 ★考えを深めたい、伝える力を育てて授業の工夫
～魅力ある授業の設計と思考力を育ててほしい～

【授業改善の進め方】

①主体的な学びを促す授業実践の場を創出（授業・単元・教科）
②グループ・思考ワーク等を活用し、意見を交差する問題解決的授業

【取組内容】

【取組内容】

【家庭・地域との連携】

生徒と共有

みんなが
発言できる
授業にしたい
よね？

(○)自分の意見を持ち、
友だちに伝える

(×)「姿勢をよくする」
「寝ない」

『生徒と共に創る授業』アンケート

・自分たちが設定した目標を意識して授業に取り組めましたか

4 3 2 1

学校はアンケート
結果から目指す
授業像に対する
進捗を把握

STEP1～3でPDCAを回して検証・改善していきましょう

目指す授業像の実現に向けた可視化された学習目標の例①

A中学校の取組(「生徒指導の3機能」の視点で見た例)

A中の

学習の心得3か条

① 友だちの考えを尊重しよう

- 聴く(受けとめる)
- 自分との違いを見つける
- 評価する

共感的な
人間関係

② 自分の
考えを持とう

- 読んで、聴いて
見て考える
- 書いてまとめる
- 疑問を見つける

自己決定

学習目標の達成
をめざして
学び合おう

③ 自分の考えを
表現しよう

- 書く・実技する
- 伝える
- 発表する

自己存在感

A中学校では、『学習の心得3か条』として、「生徒指導の3機能」を意識した目指す授業像を「学校全体」で共有しています

「学校全体」で目指す生徒像を共有した上で、「各クラス」の実態、願いから目標設定(可視化)をしています

自己決定

授業目標

自分の意見を持ち、
発表する。
人の意見を聞き、
尊重する。

共感的な
人間関係

自己存在感

授業目標

全員が積極的に発言し
全員参加の授業にする

自己存在感

生徒と共に考えた 他の学校の学習目標の例

学習目標

先生の発問や質問、
発表する人に対して、
うなずく/拍手する/返事する/
言葉を返すなどの反応をしよう。

学習目標

はじめあり・意見あり・発表ありで
楽しい授業を割りあげる

～ 私語

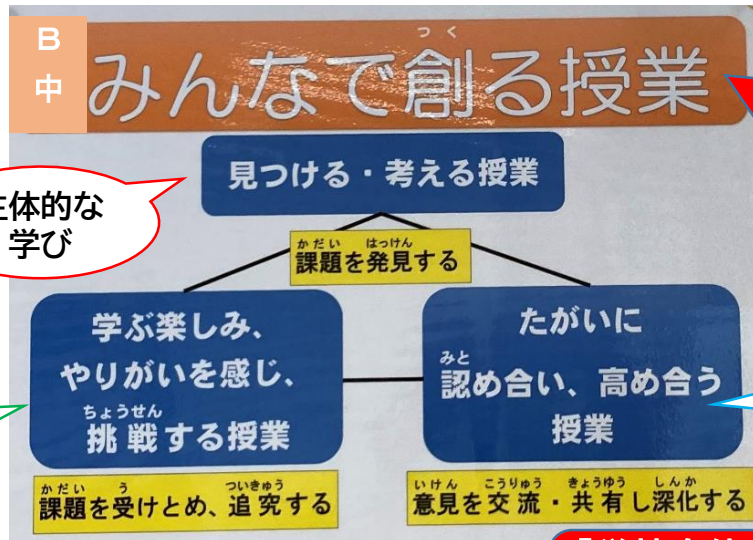
3年2組 学習目標

☆自分の考えを積極的に表
現しよう
☆お互いの考えを尊重して
学び合おう

生徒がつくった学習目標を適宜振り返ることで、生徒による継続的・発展的な授業改善をしていきましょう

目指す授業像の実現に向けて可視化された学習目標の例②

B中学校の取組(「主体的・対話的で深い学び」の視点で見た例)



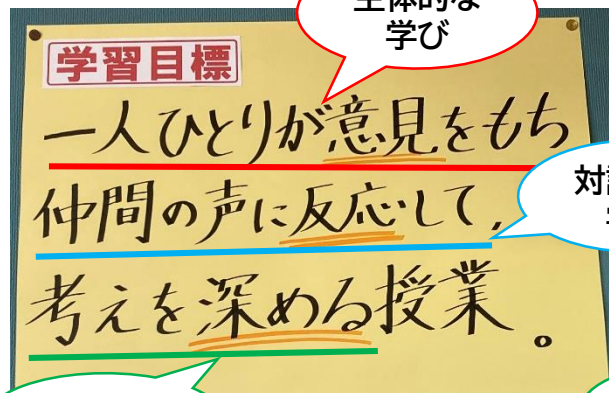
主体的な
学び

深い学び

B中学校では、『みんなで創る授業』として、「主体的・対話的で深い学び」に沿った目指す授業像を「学校全体」で共有しています

対話的な
学び

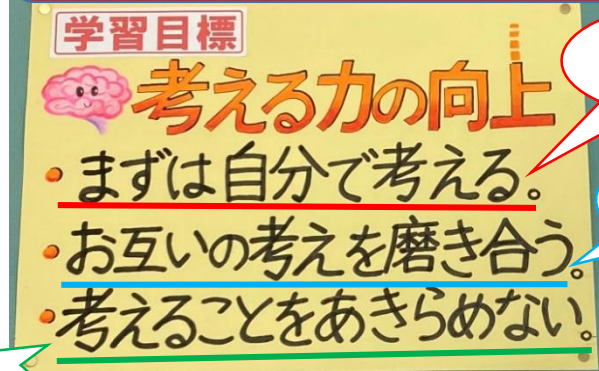
「学校全体」で目指す授業像を共有した上で、「各クラス」の実態、願いから目標設定(可視化)をしています



主体的な
学び

対話的な
学び

深い学び



主体的な
学び

対話的な
学び

深い学び